



SanKen

*Power Electronics for  
Next "E" Stage*

サンケン電気  
サンケングループ

---

2017 CSR報告書

# Power Electronics for Next "E" Stage

## 編集方針

本報告書は、2016年度の当社グループのCSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) 活動をステークホルダー (利害関係者) の皆様にお伝えすることで、コミュニケーションの向上と活動内容の充実を目指す目的で作成しています。

## 報告対象期間

2016年度 (2016年4月1日～2017年3月31日)

\* 一部の報告には、2017年度の活動計画を含みます。

## 報告対象組織

本報告書の対象組織は、サンケン電気株式会社およびグループ会社としてしています。

## 報告形態

本報告書はGRIガイドライン第4版を参考にして、CSR活動の要点をまとめたダイジェスト版となっております。

CSR活動の詳細につきましては下記のアドレスからご覧ください。

<http://www.sanken-ele.co.jp/csr/>

## 発行について

発行 2017年6月

次回発行 2018年6月 < 予定 >

お問い合わせ先

サンケン電気株式会社 管理本部 CSR室  
〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号  
TEL 048-472-1116 FAX 048-472-1158

# サンケン電気 2017 CSR 報告書

## C O N T E N T S

---

編集方針 .....	1
トップメッセージ .....	3
わたしたちの製品が使われているところ .....	5
特集 1 環境対応製品 .....	6
環境に関するトピックス	
特集 2 70 周年記念特集 .....	11
特集 3 当社技術を利用した貢献活動 .....	13
特集 4 グループ各拠点における当社技術を利用した貢献活動 1 .....	15
特集 5 グループ各拠点における当社技術を利用した貢献活動 2 .....	17
 コーポレート ガバナンス .....	19
サンケングループの CSR	
コーポレートガバナンス体制	
CSR 委員会、内部統制推進委員会、内部監査	
 社会 (ステークホルダー) .....	21
お客様との関わり	
お取引先との関わり	
従業員との関わり	
社会・地域の皆さまとの関わり	
 環境 .....	25
環境活動の考え方、環境活動体制	
会社概要 .....	26

---

# 時代の変化を見据え、社会との持続的な

## はじめに

当社は昭和 21 年 9 月に、電力会社の研究所であった「東邦電力産業研究所」から独立し、「東邦産研電気」として現在の志木市に設立されました。昭和 27 年には現在の新座市に移転し、それ以来サンケン電気は新座市を拠点として歩み続け、2016 年 9 月 5 日にはおかげさまで創立 70 周年を迎えることが出来ました。

この 70 年間、様々なステークホルダーの皆さまに支えられながら、パワーエレクトロニクスとその周辺領域での最適なソリューションの提供に努め、お客様との価値観の共有を図ることで確固たる地位を築いてまいりました。今後もパワーエレクトロニクスを通じて新しい価値を創造することで社会的責任を果たしていく所存です。

コア事業である半導体デバイスでは、堅調な伸びを見せる自動車電装品向け IC や今後大きな成長が期待されるモータコントロール IC、そして、産業機器や家電のみならず、様々な市場で求められる電力制御 IC、パワーディスクリートなど、高付加価値を追求した先進的な製品を世界各地のお客様にお届けしています。このほか、永年培ってきた回路技術と制御技術を高度に融合させたパワーモジュール製品や創業以来一貫して技術革新に努めてきた電源機器（パワーシステム）製品など、特徴ある製品もお客様にお届けしています。当社は、こうしたパワーエレクトロニクスに関わる多様なソリューションを提供し続ける企業でありたいと考えています。



## サンケンのCSR 経営

当社は「創立宣言」において、「産業・経済・文化の発展への寄与」を掲げており、その精神は「経営理念」において「半導体をコアビジネスに、パワーエレクトロニクスとその周辺領域を含めた最適なソリューションを提供することを使命とし、世界各地の産業・経済・文化の発展に寄与する」と明記され現在へ引き継がれています。

当社グループはこの「経営理念」の実践を通じ、社会貢献することを CSR 活動の軸として、「社会との関わり」、「厳正な企業経営」そして「地球環境の保全」といった観点から CSR の取り組みを行っています。

特に「地球環境の保全」においては、本業である「パワーの変換、制御に関連する製品開発」を促進することがより大きな貢献に繋がると考えております。

当社グループは、2015 年度に 3 カ年の中期経営計画（15 中計）をスタートさせ、「Power Electronics for Next “E” Stage」をスローガンに掲げて取り組んでいます。

この中期経営計画は、10 年先まで見据えた長期的視点でそこに生きる当社グループの「ありたい姿」と、そこに至るまでの直近 3 年間の「あるべき姿」をあらわ

したものです。当社の重点戦略市場である「車載」、「白物家電」、「モーター」、「産機」、「通信」、「新エネルギー」、「LED」は世界的な成長市場に軸足を置いており、市場にも顧客にも恵まれています。パワーエレクトロニクス分野での当社のプレゼンスは

# 共生を目指して

大変大きく、それは当社技術への信頼であり、これまでの70年間の実績によるものと言えます。

当社が得意とする「半導体を生み出すプロセス技術」、「IC・LED・センサーを組込むアッセンブリ技術」、「電源ユニットへ搭載する回路技術」、そして「大型電源を構築する装置化技術」のすべての要素技術を充分活かし、エコ・省エネを実現するための多様な製品を提供することでこれからも社会に貢献してまいります。

## 今後の取り組み

近年、エネルギー需要の増加にともなう環境破壊問題やエネルギー供給問題などを背景に、様々な環境規制が強化されています。例えば日本の省エネ規制、国際エネルギー効率プログラム、欧州 ErP 指令、米国 EISA2007 等が製品の電源部分の効率に厳しくかかわってきています。さらに自動車に関しては世界各地でより厳格な燃費規制、排出ガス規制が適用されています。

刻々と変化する環境の中でもサンケンの強みを発揮し、これらの課題を先取りし、社会が求めている高品質な「エコ・省エネ製品」を提供していくことで、ステークホルダーの皆様の期待に沿えるよう努めてまいります。

一方、「厳正な企業経営」のためにコンプライアンスおよびリスク管理を徹底しガバナンス強化を図ってまいります。また、それだけではなく、当社グループとしての「働き方改革」と「成長戦略」の両立というものを目指してまいります。ワークライフバランスを常に注視しつつ、「変革」と「育成」により人を育て、企業の成長へつなげて行くなど、社員が働きやすさと、自身の成



長を実感出来る環境を作る経営に務めていきたいと考えています。

変化の著しい21世紀に勝ち残り、そして企業に課せられた社会のニーズに対応するために、事業活動とCSR活動を一体化させたCSR経営を着実に成果に結びつけ、全てのステークホルダーの皆様からこれまで以上のご信頼をいただき、また世界の産業・経済・文化の発展に貢献する価値ある企業と認めていただけるよう、邁進してまいります。

本CSR報告書をご一読いただき、当社のCSRに対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

2017年6月

サンケン電気株式会社

代表取締役社長

和田 節

# 「わたしたちの製品が使われているところ」

当社製品は、成長著しいエコ・省エネ関連分野において、自動車、白物家電、LED照明、産業機器などのさまざまな製品に使われています。更に、新エネルギー、グリーン・インフラ市場へ商品展開していくことで省エネに貢献しています。

法律に義務づけられた高層建造物に設置され、航空機の安全航行を確保

「LED 高光度航空障害灯」



落雷や停電、予期せぬ電源トラブルから、ハードウェアやデータを守る

「無停電電源装置」



リチウムイオン電池を搭載し小型・長寿命を実現した無停電電源装置

「太陽光発電用蓄電装置 (ESS)」



独自のソフトスイッチング技術により、低騒音・小型化を実現し、マンション、学校、公共施設など設置場所を選ばない



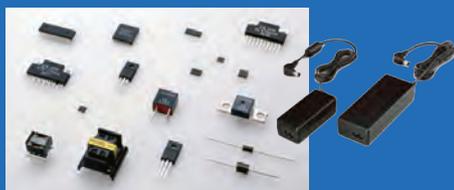
「太陽光発電用パワーコンディショナー」

高度な情報・通信化社会を支える通信基地局用

「直流電源装置」

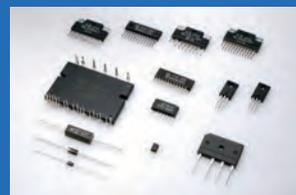
オフィス、FA、通信機器向け

「半導体デバイスやユニット電源」



エアコン、洗濯機、冷蔵庫などの家電製品や太陽光発電向け

「半導体デバイス」



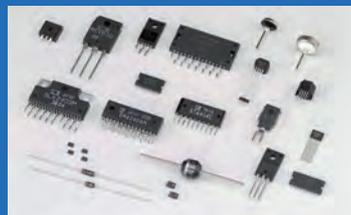
「LED 照明灯具」

省エネ、省資源、長寿命で次世代の照明として注目



自動車向けの様々な制御部分に搭載

「半導体デバイス」



光源に LED を採用した長寿命の航空障害灯

航空機の安全航行に障害となる恐れのある煙突・鉄塔・アンテナ・橋梁などの高層構築物には、航空機から容易にその存在を認識できるように航空障害灯を設置する必要があります。

このため航空法では、高さ60m以上150m未満の高層構築物には中光度白色航空障害灯を、高さ150m以上の高層構築物には高光度航空障害灯を設置することが定められています。

航空障害灯は、24時間運用可能なため、航空障害灯を設置した物件は航空法施行規則により昼間障害標識（黄赤色と白色の帯状塗装）を施す必要はありません。

当社はキセノンランプを光源とした航空障害灯を1976年に開発し、以来小型化など種々の改良を行いながら約40年間国内の高層構築物に航空障害灯を提供し続けてきました。

この度、環境配慮型製品として、

閃光装置  
発光部



LEDを光源とした中光度白色および高光度航空障害灯を開発しました。

特徴としては下記の4点が挙げられます。

- (1) キセノンランプでは1年に1回交換が必要でしたが、LED化により長寿命となり、閃光装置発光部はメンテナンスフリーを実現したため、高所作業の回数を減らすことができました。
- (2) キセノンランプは高圧リレーで光度切替（昼間・薄明・夜間の3モード）をしていましたが、半導体回

閃光装置  
電源部



路での制御となり、より高信頼化を実現しました。

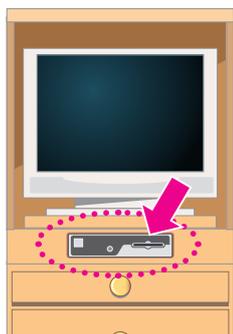
- (3) キセノンランプ型閃光装置と取り付けに互換性を持たせたため、容易にリプレースが可能です。
- (4) 航空障害灯はRoHS指令非対象製品ですが、閃光装置発光部のLEDモジュールおよび電源部のプリント基板等をRoHS準拠品とし環境に配慮しています。

また、閃光装置を制御する管制器に関しても、設置場所に適したカスタマイズ可能な設計となっています。

従来機種と比較し、あらゆる条件で大幅に効率を向上させた制御用電源

病院等の施設に設置されているテレビや冷蔵庫にはカードタイマーという装置がついており、利用者は自動販売機などでプリペイドカードを購入して装置に挿入することでテレビや冷蔵庫が利用できるようになります。

このカードタイマーに搭載される組込み用電源の省エネに寄与する開発を行いました。特徴としては24時間稼働する制御用電源なので、待機電力を可能な限り少なくなるような電子回路にするため、当社製IC:STR3A153を使用いたしました。当ICは低消費電力および低待機電力に対応するため、起動回路とスタンバイ



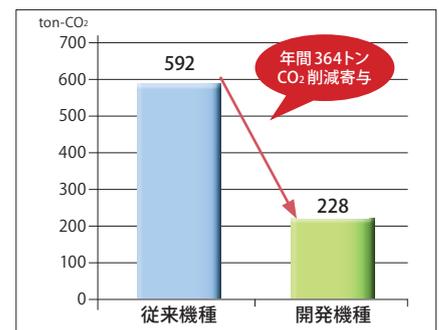
機能を内蔵しています。通常動作時はPWM動作、軽負荷時はバースト動作へ自動的に切り替わります。

	従来機種	開発機種	改善%
定格時損失	6.41W	2.98W	53.5%
待機時損失	2.55W	0.73W	71.4%
部品点数	50点	40点	20.0%

変換回路を工夫することで従来機種と比較し、1台あたり待機時=1.8W、定格時=3.5Wの消費電力削減を実現しています。出荷数量は30,000台/年間を予定していますので新旧比較では年間約364トンのCO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

今後は本機をベースに同じような出力電力の汎用電源へ、回路を展開していきたいと考えています。

年間CO<sub>2</sub>排出量比較 (30,000台)



条件: 24時間通電/1日、365日/年間稼働  
CO<sub>2</sub>換算係数 0.556kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
2014年度電気事業連合会(全国平均)にて算出



超低待機電力対応 AC/DC 電源用 IC

家庭でもオフィスでも、エネルギー使用機器に対してエコ・省エネを実現するための技術向上は常に求められています。

代表的なエネルギー規制に欧州連合(EU)によるErP(Energy-related Products)指令があります。

ErP 指令は製品分野または搭載機能によりカテゴリー分けされた様々な規制があり、エコ設計が義務付けられています。

プリンタやテレビなどは、使用していない時でもコンセントに AC コードが接続されていると、微少な電流が流れてしまいます。一般的にはこのような状態での消費電力を抑えるため、スタンバイモードが搭載されています。

電源の入力部分では、相容れない次の問題があります。

電磁妨害の原因となる EMI ノイズの低減のために AC ラインの両端にコンデンサ(これはライン間をまたぐため、X コンデンサと呼ばれる)を接続する必要があり、さらに電源出力が増加すると EMI ノイズも増大するため、それを防止する、X コンデンサも大容量化する必要があります。

損失比較	従来品	開発品 SSC3S927
スタンバイ時	225mW	180mW

一方、国際安全規格 IEC62368-1 の要求では AC 入力を OFF 後、2 秒以内に AC プラグの電圧は 60V 以下 (0.3  $\mu$ F 以上の X コンデンサの場合) にしなければならず、通常は放電用抵抗を用いてコンデンサの残留エネルギーを放電しています。

ここで問題なのが、この放電用抵抗の抵抗値です。低ければ簡単に放電しますが、この放電用抵抗は常時 AC 入力側に接続されるため、電力損失の主要因となってしまいます。

今回初めて、電流共振制御の AC/DC コンバータ用電源 IC の内部に X コンデンサを放電する機能を搭載した製品を開発することに成功しました。

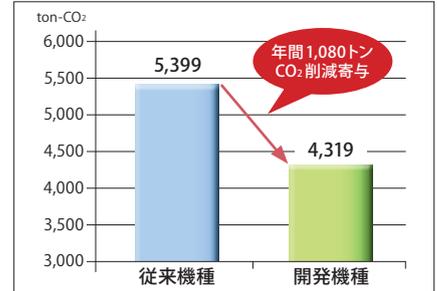
これによりスタンバイ時の電力損失の低減を実現するとともに国際安全規格の要求もクリアし、ノイズの低減も解決する事が出来ました。

なお、この電源 IC は軽負荷の高効率スタンバイ機能も搭載されています。

出荷数は、約 7,000,000 個 / 年間で予定しており、これにより CO<sub>2</sub> 削減効果は図のようになります。

今後は、さらなる低スタンバイ電力、軽負荷高効率および設計の容易さを追求した電流共振 IC の開発を進めていきます。

年間 CO<sub>2</sub> 排出量比較 (7,000,000 台)



※稼働時間 16 時間 / 日、CO<sub>2</sub> 換算係数 0.587kg-CO<sub>2</sub>/kWh



## 太陽光と同じ自然光を再現した LED 照明

LED 照明は発光効率が年々上昇しています。

これまでのような省エネのニーズにはもとより、「光の質」を問われるニーズが出てきており、それは、太陽光なみの高い演色性を求められる市場において顕著になってきています。

その業界は、「印刷会社の色検査工程」「化粧品等の美容関係」「アパレル・服飾商品展示」および、自動車関係の塗装工程、板金修理工程、ディーラーなどがあります。更に美術館においては、従来の蛍光灯では「紫外線」で美術品が劣化してしまう弊害がありました。LED 照明ではそれを防止することが出来ます。高演色の特殊照明は AAA 蛍光管と呼ばれており、この市場においては LED 照明化が遅れています。ここに当社独自の手法で開発を行い、市場参入しています。

演色 AAA の最低値は、JIS Z9112 において平均演色評価数 Ra=95 以

上と定義されています。(太陽光が Ra=100) これに対し、当社製超高演色 LED 照明は、Ra=97 で、他社よりも優位性を誇っています。

他社製の「色評価用蛍光ランプ」を本製品に置き換えた場合、消費電力は、45% 削減 (41W ⇒ 22.4W) でき、寿命も 4 倍 (10,000 時間 ⇒ 40,000 時間) となり、省エネ・省資源に貢献できます。本製品の出荷数量は 10,000 本 / 年間で予定しています。



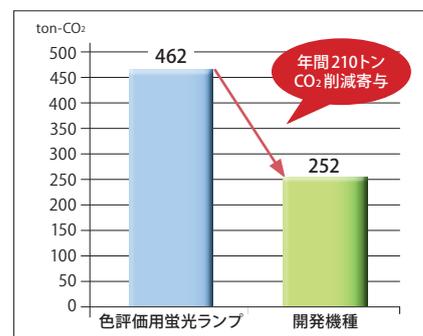
今後は省エネ光源として発光効率を 90Lm/W ⇒ 130Lm/W に向上させさらに、住宅の居間やキッチンなどの照明の質を良くしていくことにも挑戦をしていきたいと考えています。

損失比較	他社製の色評価用 蛍光ランプ	開発機種
消費電力	41W	22.4W



《置き換えによる CO<sub>2</sub> 削減寄与》

条件 : 8 時間点灯 / 1 日、240 日 / 年間稼働  
CO<sub>2</sub> 換算係数 0.587kg-CO<sub>2</sub>/kWh



平均演色 評価数	平均演色評価用									特殊演色評価用						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	赤	黄	緑	青	西洋人の 肌色	木の葉の 色	日本人の 肌色
サンケン 超高演色 LED 証明	97	98	97	96	97	97	98	97	93	98	95	97	97	98	96	
演色 AAA の最低値 (JIS Z 9112)	95	-	-	-	-	-	-	-	88	88	93	88	93	93	93	

小型高性能 表面実装電流センサー IC ACS780 / ACS781

一般的に回路電流を測定する典型的な方法は、電流を伝達する導体と直列に電流検出抵抗を接続する方法があります。その抵抗の両端の電圧降下をオペアンプで測定し、オームの法則から回路電流値が計算されます。

大電流を扱う用途においては、ボード上で発生する熱を最小限に抑えるため、低抵抗値（通常 1 ~ 50mΩ）の抵抗が必要となります。しかし、抵抗値が低すぎると検出電圧が小さくなり、測定精度が低くなります。また、低抵抗値の電流検出抵抗は部品サイズが大きくなり、PCB（プリント基板）面積を消費します。電流検出抵抗の熱係数とオペアンプの電圧オフセットも測定誤差の発生原因となります。これをふまえて、設計者は測定精度、消費電力、温度管理、PCB 面積、コストのバランスをとる必要があります。

電流は、測定する負荷のグラウンド付近（ローサイド）ではなく、電源電圧（ハイサイド）の近くを測定することが最良とされます。ハイサイドで測定すると、グラウンドの変動に対する影響が避けられ、グラウンド短絡の検出が可能

となるためです。電源電圧と用途によっては、電流検出回路の接続に基礎絶縁または強化絶縁が必要になる場合があります。電流検出抵抗、オペアンプを使用してハイサイドを測定する場合は、コモンモード入力範囲の高いオペアンプが必要となり、設計が複雑化します。絶縁を実現するために、追加のオプトカプラなどの絶縁素子と絶縁電源が必要になり、更に複雑さが増し、コストが上昇します。

一方、アレグロマイクロシステムズによって提供されるホール効果電流センサー IC は、電流検出抵抗の必要性を排除します。測定する電流は IC に内蔵する導体部を直接流れ、その導体部から生成される磁場を測定します。

本 IC は、6.4 × 6.4mm の表面実装 LR パッケージに収められています。電流は内蔵する導体に流れ、磁場を生成し、チップに搭載されたホール素子が感知します。フリップチップアセンブリ技術を使用することにより、ホール素子は、リードフレーム上の磁場が最も高い部位からとても近い場所に配置されています。このパッケージにより優



れた信号雑音比(SN比)が得られます。

アレグロ電流センサーは電氣的に絶縁されており、ハイサイドにおいても効率的に電流を測定することができます。ACS780LR は、電源電圧が 100V 未満のアプリケーションを対象としています。その構造は、チップ上のアクティブ回路に電流が流れる導体部と電氣的に接続されていないため、固有の絶縁を可能にします。

全体として、パッケージングと回路設計の進歩により、ホール電流センサー IC を使用して PCB 上の 50A を超える電流の測定が容易になりました。小型で表面実装型の ACS780 / 781 を使用することにより、電力損失が少なく、正確かつ電氣的に絶縁された検出が安価に実現できるようになりました。

ACS780 / 781 と 電流検出抵抗 + オペアンプ構成の比較

	電流検出抵抗 + オペアンプ	ACS780 / 781
BOM (部品数)	検出抵抗を含むため部品点数多数	小型面実装部品に全ての電流検出機能を内蔵
基板面積	部品数が多いため部品実装面積が大きい	小さな基板面積で電流検出を実現
電力損失	ACS780 / 781 と比較し 2 ~ 4 倍の抵抗値のため、基板上で発生する熱による電力損失が大きい	0.2mΩ の低抵抗値により電力損失が少なく、放熱に必要な基板面積もとても小さい
ライフタイムドリフト	はんだ接合部のインピーダンスが長期的に変動し、測定誤差を引き起こす	磁場のみが測定されるため、はんだ接合部の経時変化は誤差にほとんど影響しない
浮遊磁場	浮遊磁場の影響なし	差分検出技術により浮遊磁場による影響を排除
測定精度と分解能	精度は抵抗値の温度特性に依存。低抵抗値の電流検出抵抗においては低電流時の測定が困難。低ノイズオペアンプ使用により分解能は良い	標準精度 ± 1% 適切なフィルタリングにより低電流測定は 60mA まで可能
ノイズ	高インダクタンススイッチングにより、ブランキングおよびセトリング時間を必要とするノイズの多いイベントが発生	IC のフィルタリングと内蔵シールド層が GND に結合され、安定した出力信号を生成

## 低損失、低リーク電流を実現したショットキーバリアダイオード



OA 機器、産業機械、通信機器などエネルギー使用機器内部のスイッチング電源の 2 次側整流用ダイオードとしてショットキーバリアダイオードが多く使用されています。

世の中の省エネ要求は強まる傾向であり、ショットキーバリアダイオードに対しては、導通損失低減のために、抵抗に相当する VF 特性を下げるのが不可欠です。また、PN 接合ダイオードと比較してリーク電流が大きいデバイスのため、熱暴走破壊が懸念され、IR 特性を如何に抑制するかが重要な要素となります。

損失比較	従来品	開発品
定格時	5.5W	5.2W

この VF 特性と IR 特性は、トレードオフの関係にあり、両立が困難な技術で

す。これを実現するにあたり素子内部にトレンチ構造と呼ばれる溝を形成することで解決しました。この構造を採用することで、抵抗成分のもっとも大きいシリコン層を削減して低 VF 化できます。また、リーク電流は、素子に形成するバリア電極に依存するため、最適な電極を選定することで低 IR 化も両立します。なお、トレンチは、凹凸の出来る構造となるため、バリア電極を均一に形成しないとリーク電流の原因となります。そのため、均一に安定して生産できるプロセスを確立させ、量産を可能にしました。

25℃の VF 特性は、同チップサイズを搭載する製品と比較すると従来品が 0.81V に対して開発品は 0.71V となり 12% も低減させることができました。また、この製品がスイッチング電源に搭載された場合、表のように 0.3W の電力損失の改善になります。

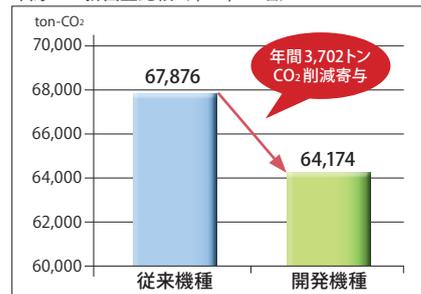
IR 特性は、従来品よりも約 60% 低

減することができ、熱暴走し難いことで放熱設計の余裕度が向上します。

出荷数は、FMET-23010、FMET-24010 それぞれ約 300,000 個 / 月を予定しています。

これにより CO<sub>2</sub> 削減効果は図のようになります。

年間 CO<sub>2</sub> 排出量比較 (7,200,000 台)



※稼働時間16時間/日、CO<sub>2</sub>換算係数 0.587kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## 環境に関するトピックス

### 太陽光発電装置設置 サンケン電気(株) 川越工場

経産省補助金対象事業として、平成 28 年 12 月川越工場 1 号棟屋根に自家消費型太陽光発電装置を設置し、契約電力見直しによる電力料金の削減を図るとともに、グリーンエネルギー導入による CSR 向上を図りました。

設置前には環境影響評価を実施し、近隣に騒音等の問題がないか確認を行いました。



概要	
発電出力	192.5kw
発電電力量	222,823kwh/年
パワーコンディショナー	当社販売製品 28kw × 7台
投資額	5,980 万円

創立 70 周年記念講演

【日時】 2016 年 9 月 3 日 (土) 【場所】 志木市民会館

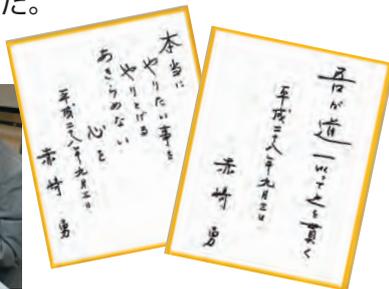
当社は、各部署から厳選した最新技術を発表しあう「技術発表会」を年 1 回開催しています。本年度は当社創立 70 周年記念として、ノーベル物理学賞受賞者である赤崎勇先生を豊田合成 (株) 様のご尽力により、お招きし特別に記念講演をしていただくことが実現できました。



会場をうめ尽くした当社社員 (約 700 名)



記念のサインを書かれている赤崎先生



予定時間を大幅に超えた熱のこもった講演



青色 LED と黄色の蛍光体で白の再現



赤崎先生、当社社長と発表者

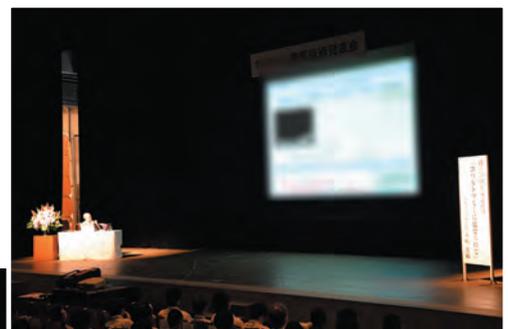
講演では「コバルトブルーに魅せられて」と題し、赤崎先生の思い出や研究の苦労をお話いただきました。

お話いただいた内容はサンケングループ社員に大変勉強になるお話でした。

長年、研究されてきた結晶成長や結晶の作り方 1 つで性質が大きく変わるということや、ある物質の結晶を作るために装置までも学生達と自作されたお話など、盛りだくさんでした。

さらに、結晶化が難しかった窒化ガリウムという化合物を作られたお話では、新しくあみだされた「低温バッファの技術」で窒化ガリウムとサファイアの 2 物質をうまく整合させ綺麗な結晶を作られたことなど、青色

LED の開発成功に到達した経緯が分かりやすく語られ、2 時間のご講演はあっという間に終了致しました。



## 創立 70 周年記念プライベート展示会

開催名称：SANKEN TECHNO FAIR 2016

開催日程：2016年12月15日(木)～16日(金)

来場対象：主要顧客を中心としたお取引先、販売特約店、証券アナリスト、機関投資家、マスコミ（産業専門誌、経済誌）、金融機関、大学など教育機関も含むのべ1,328名が来場されました。

会場：TEPIA（東京都港区北青山2丁目8番44号）



会場内



受付



入口



セミナー会場

## 新座市に緊急自動車を3台寄贈

創立70周年を迎えたこの記念すべき年に当たり、何か地元地域貢献が出来ないかと考え、「新座市役所市民安全課」様を通じてご相談させていただき、広報、災害対応、道路パトロールの緊急自動車3台を寄贈いたしました。

寄贈日：2016年10月31日(月) 午前10時

寄贈場所：新座市役所市民広場

- 寄贈車両：① 広報自動車（新座市消防団）・・・・・・アルファード  
 ② 災害対応車（市民安全課）・・・・・・ランクルプラド  
 ③ 道路管理車（道路課）・・・・・・エクストレイル



新座市長(左)と  
当社社長

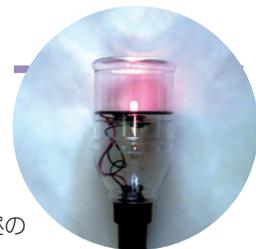


当社社長



当社製品のLEDおよび回路技術を活用したLED「ペットボトル®」とよばれるオリジナル商品を使用したイルミネーションイベントを行政の主催により、毎年開催しています。石川県輪島市では6年前から、富山県富山市では4年前から実施され、当社から技術提供させていただいています。

地元地域の活性化は当社グループの人材確保をはじめ、様々なインフラの強化にもつながります。今年、初めて大分県豊後高田市でもイルミネーションイベントを開催いたしました。



### ペットボトル®

当社は地域活性化のために「ペットボトル®」と呼ばれる太陽光発電パネル付LED（発光ダイオード）を使用し、各地行政に技術供与をしています。

「ペットボトル®」の仕組みは容器に「太陽光発電パネル」、「充電池」と「LED」を組み込んだもので、昼の太陽エネルギーで発電・蓄電し、暗くなるとLEDが自動的に点灯するというシンプルな発光装置です。

化石燃料による発電ではなく、太陽光エネルギーを利用するものなので地球環境に優しく経済的と大変評判をいただいています。

#### 2年目

##### 福井県越前町 「水仙岬のかがやき」

★ 開催期間  
2017年3月12日～  
5月28日

★ LED「ペットボトル®」  
16,100個



この地域の「越前岬水仙ランド」の周辺は日本水仙の三大群生地として知られています。水仙をイメージしたLED「ペットボトル®」で電飾の花を咲かせました。最初は白と黄色が点灯し、30分後に緑と紫に変わります。

#### 6年目

##### 石川県 「輪島・白米千枚田 あぜのきらめき」

★ 開催期間  
2016年10月15日～  
2017年3月12日

★ LED「ペットボトル®」  
21,000個



日本海を望む棚田とあぜ道を幻想的に照らす光がピンクとゴールドに30分ごとに美しく変化します。

#### 4年目

##### 富山県 牛岳温泉スキー場 「虹のかけはし」

★ 開催期間  
2016年7月23日～  
9月11日

★ LED「ペットボトル®」  
28,000個（7色）



冬はゲレンデとなる斜面に水平に張った鎖へ吊り下げの方法でペットボトル®を設置し、七色の虹とオリンピックの五輪を演出しました。

## 初開催

### 大分県 豊後高田 「千年のきらめき」

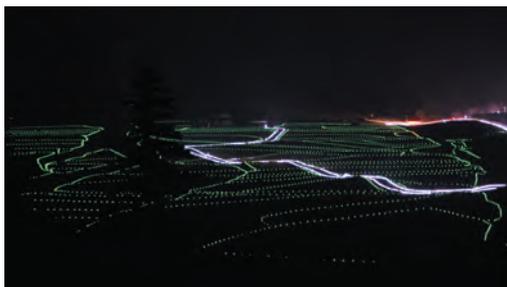
★開催期間

2016年11月19日～  
2017年1月13日

★LED「ペットボトル®」

10,000個

世界農業遺産である田染荘小崎地区の農村景観は、平安時代から千年変わらぬ水田区画を現在に残しています。今年、初の試みとして1万個のペットボトル®を田んぼのあぜに設置し、幻想的な雰囲気を醸し出しました。



## ～西能登・富来のきらめき～ 里浜 桜貝廊

石川県能登地方の海岸は日本海の荒波により造り出された「能登金剛」や夕日が美しいスポットで知られています。日本の小貝三名所の一つである増穂浦海岸には、長さ4キロメートルの海岸線に約500種類の貝が打ち寄せられ、「幸せを呼ぶ貝」と呼ばれる「さくら貝」は縁起の良い物として親しまれています。また、海岸を見渡す丘の上には、「世界一長いベンチ（1987年ギネス認定）」があります。

今回、地域資源を活かした交流人口拡大推進事業の一環として、地方創生加速化交付金を受け「西能登里浜イルミネーション ときめき桜貝廊」イベントを実施いたしました。道の駅（世界一長いベンチ）や宿泊施設周辺において、地域資源を活かしたイルミネーションを設置することにより、交流人口の拡大を図る目的で開催され、サンケンオプトプロダクツが協力いたしました。

イルミネーションイベント実施前に志賀町内の小中学生を対象にLED「ペットボトル®」の工作教室を行い、その工作教室で製作されたLED「ペットボトル®」を本イベントに使用いたしました。

### 【工作教室】

- (1) 日 時：夏休みの期間中
- (2) 場 所：志賀町内各小中学校
- (3) 参加人数：1,340名

### 【西能登里浜イルミネーション ときめき桜貝廊】

- (1) 開催期間：2016年10月1日（土）～  
2017年1月10日（火）
- (2) 場 所：世界一長いベンチ・道の駅とき海街道  
周辺（石川県羽咋郡志賀町富来領家町）



東日本大震災復興支援 / 東松島市

こころをつなぐ 1万人のメッセージ  
**「希望の虹」プロジェクト!**

11月19日の「東松島市復興イベント」に使用するLED「ペットボトル®」の組立を東松島市の子供たちに夏休み工作教室として実施しました。

LED「ペットボトル®」の中のメッセージフィルムには自分の「未来へ向けた夢」や絵を描いていただきました。

新座・川越市内の公民館で実施した工作教室では、子供たち全員に東松島市用としてメッセージフィルムだけを追加で描いてもらい、それを東松島市に送り、LED「ペットボトル®」に組み込んでもらいました。

【対象】 小学校 1年生～6年生

東松島市コミュニティセンター 2016年 8月19日(金) 13:30～15:00 30名



鳴瀬桜華小学校

2016年 9月21日(水)

9:30～12:15

255名



矢本東小学校

2016年 10月 4日(火) 13:40～15:10

97名



宮野森小学校

2016年10月19日(水) 13:25 ~ 14:10 26名



## 「希望の虹」 点灯式

2016年11月19日(土)  
宮城県東松島市  
JR 野蒜駅前



### 東松島市長ごあいさつ内容(抜粋)

このプロジェクトは、地域住民の皆様と東松島市地域おこし協力隊がLED「ペットボトル」の組立てや険しい斜面の設置作業に約半年をかけて協働で参加し、実現したものです。

一つずつ丁寧に手作業で組み立てられた1万個のLED「ペットボトル」には皆様の温かい想いがぎゅっと詰まっています。

LED「ペットボトル」の中に組み込まれたメッセージは東松島市内の子供達を始め、各地の支援団体、企業などの多くの人たちの「願い・夢」が込められています。

復興の地で皆様のところをつないだ虹が輝き、新しいまちづくりの舞台につながっていきます。



当社の技術および当社半導体製品や LED を活用した「省エネ環境教室 + 工作教室」を各地で開催しています。2016 年度も特に「地元に注力」という方針のもと当社グループの各拠点にて開催しました。担当スタッフには社内にて任命している CSR 推進者を活用し、内容の企画から当日運営まで任せることで全員で心をこめて実施しています。保護者、学校関係者、市役所関係者からは「省エネや LED について良く理解できた」と感謝の言葉をいただいています。なにより、子供たちの満足した笑顔が嬉しく、逆に当社スタッフの方が癒されています。

公民館

**【環境教室 + ペットボトル工作教室】 小学校 1 年生～6 年生**

埼玉県のジョブシャドウイング事業として、高校生にもお手伝いいただきました。

- 【内容】 ① 座学 ② 三択クイズ [エコ(スマートライフ…… 省エネ、創エネ、蓄エネ)]  
③ 実験 (光の三原色を実際に見る) ④ LED「ペットボトル®」工作

新座市大和田公民館	2016 年 7 月 21 日 (木)	10:00 ~ 12:00	20 名
川越市大東公民館	2016 年 8 月 3 日 (水)	10:00 ~ 12:00	20 名
新座市立東北コミュニティセンター	2016 年 8 月 23 日 (火)	10:00 ~ 12:00	15 名



**【ラズベリーパイプログラミング教室】 小学校 3 年生～6 年生**

- 【内容】 ① プログラム開始 (ラズベリーパイ) ② グループ活動: テーマは「宇宙」 ③ 発表

新座市福祉の里児童センター	2016 年 11 月 5 日 (土)	14:00 ~ 16:00	12 名
---------------	---------------------	---------------	------



**【電子工作教室】 ドレミーノ作成・半田付け体験 小学校 5 年生～6 年生**

- 【内容】 ① ドレミーノの原理を説明 ② 半田付けの練習 ③ LED の半田付け (22ヶ所) ④ 動作確認

畑中公民館 (発明クラブ)	2017 年 1 月 14 日 (土)	10:00 ~ 12:00	10 名
---------------	---------------------	---------------	------



福島サンケン主催

交流センター

## 【夏休み LED 子ども教室 2015】 小学校 3 年生～ 6 年生

【内容】 ① LED について ② 二本松工業高校生徒による三択クイズ（提灯とは）  
③ LED「ペットボトル®」提灯工作

福島県二本松市民交流センター 2016年7月25日（土） 13:00～16:00 27名



（埼玉県環境学習応援隊からのご依頼）

小学校

## 【環境教室 + LED工作教室】 小学校 4 年生

【内容】 ① 省エネについて ② ノーベル物理学賞の青色 LED について ③ LED を使った工作

川越市立上戸小学校 2016年10月25日（火） 9:20～14:25 96名



市民会館

## 【環境教室 + LED工作教室】 小学校 4 年生～ 6 年生

【内容】 ① 省エネについて ② ノーベル物理学賞の青色 LED について ③ LED「ペットボトル®」工作

新座市民会館 2016年12月22日（木） 15:00～17:00 10名





## さまざまな委員会や専門組織が、CSRの推進を図っています

当社は責任ある企業活動の推進によって企業価値の持続的な向上を図ります。

CSRの組織全体への浸透と実践に向け、「CSR委員会」が組織横断的な専門組織として推進を行っています。

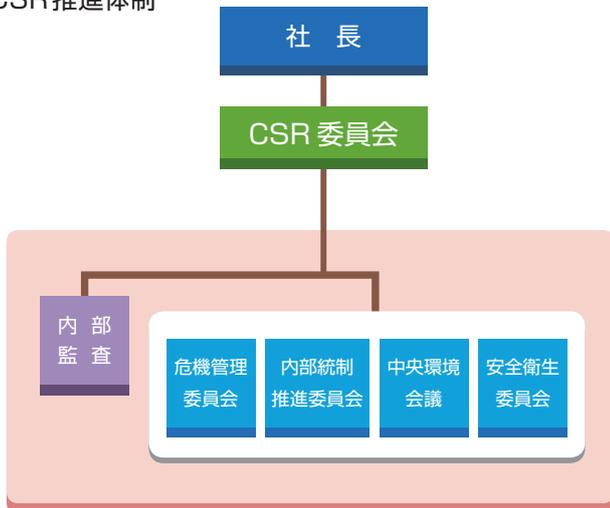
### CSR委員会

(基本方針)

1. 経営理念、経営計画への適合
2. 経済・法令・倫理的なリスクコントロール
3. 活動結果の開示と多様な関係者との対話

CSR委員会は、各本部長が委員として任に当たり、グループ全体のCSR活動を統括しています。

### CSR推進体制

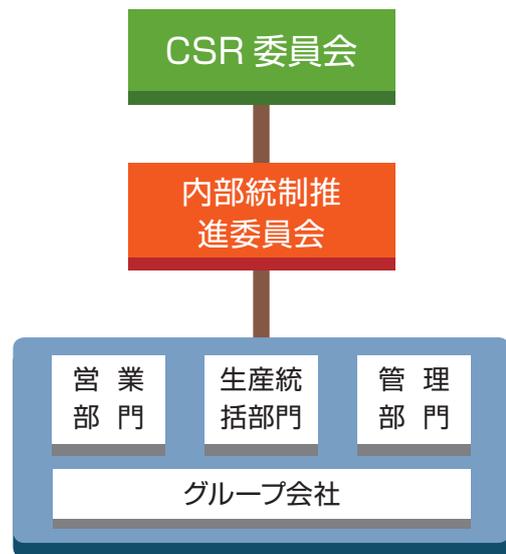


### 内部統制推進委員会

金融商品取引法が定める、財務報告の信頼性が確保される体制を維持・推進するため、管理本部長を委員長とする内部統制推進委員会を設置し、当社およびグループ会社の各部門における業務の点検を支援するとともに、

全社レベルおよび業務プロセスにおける統制活動の有効性を審査・評価しています。

2016年度の内部統制活動としては、業務プロセスの統廃合による業務の見直しと効率化を重点的に推進してまいりました。



### 内部監査

当社は、「コンダクトガイドライン」(行動基準)を基本に倫理法令遵守、リスクマネジメント、不正の抑止と発見、経営の効率化を目的とした「内部監査」を実施しています。監査手法としては、リスクアプローチに基づく重要性、影響度を評価したテーマを重点的に監査し、また、コンピュータ利用監査技法(CAAT)の活用範囲を広げ、経営者のニーズに合ったテーマでの監査を実施することにより、内部監査の付加価値の実現(改善提案)を図り、経営リスク管理を支援・推進しています。

内部監査の結果は、経営層ならびに監査役に報告され、当社およびグループ会社の業務やシステム並びにこれらの管理方法の是正・改善に反映されます。

また、e-ラーニングや小冊子によるコンプライアンス教育の実施、身近な事例に基づくコンプライアンスマガジンの発行などにより、当社およびグループ会社社員のコンプライアンス意識の醸成・浸透を図っています。

## お客様との関わり

### お客様へ最適なトータルソリューションの提供

当社グループは、お客様の声を開発・製造部門までフィードバックすることで高品質・高性能な製品の提供を行い、お客様信頼度の向上に努めています。

#### ライティングフェア 2017へ出展

3月7日～10日に開催されましたライティングフェア2017に出展を行いました。技術説明員として当社社員がお客様対応をさせていただきました。当社ブースには4日間で約2,800名のお客様がご来場されました。

今回は、超高演色技術を要する業界向けに特化した超高演色照明を展示いたしました。超高演色に関心をもたれたお客様が多く、説明員に熱心にご質問され、滞在時間も長めの方が多数いらっしゃいました。また、超高演色照明を中心にお問い合わせを多数いただき、具体的な受注に向けて更なる拡販活動を続けていきます。



※高演色：赤などの色が鮮やかに見えます。  
(美術館、色評価などに最適な光源)

#### さらなる製品向上に向けて

お客様へ安全・安心な製品・サービスをお届けするため、品質マネジメントシステム (ISO9001、ISO/TS16949) を運用し、品質管理体制を構築、継続的改善に努め、成果を上げています。自動車、医療機器など安全・安心を求められる製品には、通常よりも更に高い品質・信頼性が求められています。

サンケン電気と各グループ会社においては安全性、品質、信頼性保証に関する活動を最重要課題として取り組まなければなりません。

本品質保証統括部では車載品質の確立は当然のこととし、各グループ会社を横通した品質管理の統一化の促進、工場立ち上げ支援強化を図っていきます。



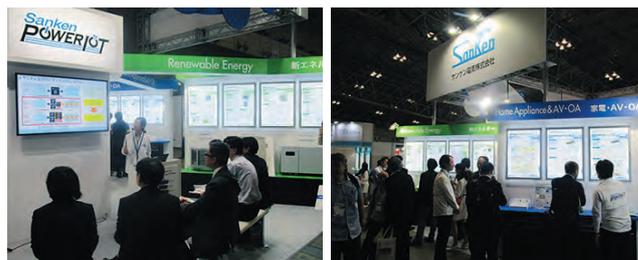
#### テクノフロンティア 2017へ出展

4月19日～21日に幕張メッセで開催されたテクノフロンティア2017に出展を行いました。

弊社の新コンセプトである「Power IoT<sup>※</sup>」特設ゾーンを中心に「自動車」「家電・AV・OA」「産機・通信」「新エネルギー」の各市場別製品及びソリューションを展示致しました。

「Power IoT」のコンセプトの元で構成したパワー半導体デバイス (MOSFET・IGBT・SiC等) 及びそのモジュール製品をお客様に積極的に紹介いたしました。「Power IoT」とは何か、と興味を示されるお客様もあり、サンケン製品をこれまでご存じなかった方への掘り起こしにも繋がり、各エリアではお客様と説明員との間で活発な質疑応答が見受けられました。

3日間で約3,000名を超えるお客様がご来場されました。2017年度も更に効果的にお客様に分かりやすいプロモーションを行っていく予定です。



※「Power IoT」とは、間もなく迎えようとしているIoT(モノのインターネット)時代の新たな電源のカタチです。簡単に言えば、通信に接続され、通信経路で監視/制御が行える電源のことです。

### 公正・透明・誠実なお取引を通じて 共存共栄を図っていきます。

当社は、グローバルな調達活動において国内外の多くのお取引先の人権や労働に関する基本的な権利を尊重するとともに、常に公平で透明な取引が誠実に行われるよう取り組んでいます。

#### 購入に対する姿勢

当社は、購入に関する基本方針、取引原則および倫理原則を「行動管理基準」に定め、誠実で透明な取引環境の向上に努めています。

なお、調達業務の運用状況については、監査部門による定期的な確認が行われています。

#### 【調達基本方針】

1. 法令を遵守し、環境にも十分配慮します。
2. グローバルな観点で最適調達を目指し、お取引先との相互理解と信頼関係に基づくパートナーシップを構築します。
3. お取引先へオープンで公平な参入機会を提供し、国籍・企業規模・取引実績の有無を問わず、QCDE 満足を基本に選定を行います。

- +** 1. コストの合理化強化    2. 調達SCMの改善    3. CSR調達の推進

#### お取引先選定について

当社では公明正大な選定を行い、「調達基本方針」に基づき広く世界に目を向け、平等な取引の機会を提供しながら自由競争の原則に則ってパートナーシップの構築ができるお取引先を選定しています。

#### 事業説明会の開催

緊密で長期的なビジネスの発展を図る目的から、当社ではお取引先事業説明会を毎年開催しています。

2017年度は97社(195名)のお取引先にご出席いただき、当社社長から「2017年度基本方針」、「変革への取り組み」、「成長実現のシナリオ」を説明いたしました。今年は特に「IoTへの取り組み - 未来社会のパワーマネジメントを支える -」と題して「サンケン電気のエッ

ジデバイス」「電力が支えるIoTの世界、電力を操るサンケン製品」を説明しました。



当社社長

続いて、技術本部長、生産本部長、パワーシステム本部長からそれぞれ、重点施策やお取引先へのお願いが話された後、資材統括部長からはお取引先との連携強化についてと下記の「お取引先へのお願い」を改めて説明させていただきました。



技術本部長



資材統括部長

#### お取引先へのお願い

- ◆ 部品・材料の安定供給
- ◆ 設備納入のリードタイム短縮と協業
- ◆ 納入部品の品質の確保
- ◆ 新素材・新技術・新構造技術の提案
- ◆ 技術プレゼンテーション・交流会の継続開催

当社では、品質や環境のマネジメントシステム（具体的にはISO 9001/2015、IATF16949/2016、ISO14001/2015）に関しては、2015年に改定された規格認証取得および切換えを推奨しています。

特に、車載用に使用される部材供給のお取引先については、IATF16949取得または相当する運用をお願いしており、さらにBCP(Business Continuity Plan)対応として下記をお願いしています。

- ・2次、3次調達先の開示依頼（個別対応）
- ・当社購買担当への緊急連絡網整備
- ・未導入のお取引先は、BCPの導入推進

## 従業員との関わり

### 労働環境の質的充実に向け、さまざまな取り組みを行っています。

当社は、「従業員一人ひとりを尊重し、すべての従業員に公正に接する」ことを経営理念に掲げています。この考えを基本として、当社は従業員の能力開発に必要な機会、安全で働きやすい職場環境の整備に注力しています。

#### 多様化する雇用への取り組み

ダイバシティ推進の一環で障がい者の雇用活動を継続的に行うため、所轄のハローワークと連携を密にして、幅広く多様な人材の確保へ取り組んでいます。

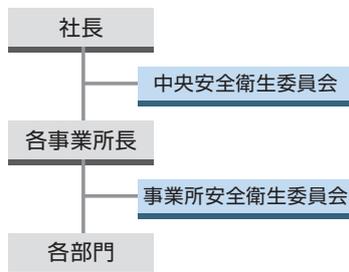
一方、新卒採用においては、積極的に外国人を採用する等、当社のビジネスがグローバル化する中で多様化に対応しています。

また、学生向けインターンシップにおいても、埼玉県企画である海外インターンシップ事業に協力し、北米の関連会社へ学生2名を派遣いたしました。

※期末時点	2013	2014	2015	2016	2017
新卒採用数	0	16	16	28	17
(内外国人)	—	1	6	7	3
中途採用数	12	10	9	7	—
障害者雇用数	29	32.5	34	32	—
インターン数	8	18	19	19	—

#### 職場の安全と安心への取り組み

各事業所の安全衛生委員会を毎月開催し、職場の安全と安心への取り組みを推進しています。また全社的な取り組みとして、中央安全衛生委員会を四半期毎に開催し、各事業所との連携を図りながら様々な活動を展開しています。



2016年度の主な取り組みとしては、

- ① 安全教育の一環として、専門業者による「薬品取扱講習会」および「高圧ガス保安講習会」を開催。
- ② 法改正に伴う「化学物質のリスクアセスメント」に関しては、管理マニュアルおよび専用ホームページを作成し、

関係者への説明会を開催。

- ③ 社用車を運転する者、あるいはマイカー通勤者、自転車およびバイク通勤者を対象に「交通安全講習会」を開催。
- ④ 社用車における事故防止対策の一環として、「ドライブレコーダー」を全車両に搭載し、管理者による監視を強化。
- ⑤ 受動喫煙防止対策の一環として、喫煙場所の見直しを実施。

#### グループ全体における女性の活躍の推進

当社および国内グループ会社において、中長期的な女性の活躍を推進するため、2012年度から約80名(1～4期生)を選抜し、ポジティブアクションを実施しています。

この取り組みは、メンバーの上司にも参加してもらい上司によるOJTを実施するだけでなく、成長のきっかけをつくるための外部女性管理職による講演会、『ロジカルシンキング』・『巻き込み力』などの研修や女性が活躍するための環境整備も含め取り組んでいます。

#### 【女性社員インタビュー】

営業本部営業企画統括部プロモーション課  
河野 三穂 (かわの みほ)さん

#### 女性が働きやすい職場です

私は2014年8月に第1子を出産し、産児休暇、育児休暇合わせて1年4カ月の休暇を取得しました。産後は、自分の体を休めると共に、子供の成長を一番近くで見守ることができ、人生の中でかけがえのない時間を過ごすことができました。復帰後も子供の通院や介護には、サポート休暇を活用しています。



休暇前は半導体製品のプロモーション業務を担当していました。復帰後も元の職場に戻り、勤務時間短縮制度を利用して仕事を続けています。仕事と家庭を両立できる環境で働くことができ、職場の理解と、会社の支援制度に大変感謝しています。

今後も家族との時間を大切にしながら、業務に取り組んでいきたいと思っています。

地域密着のさまざまな活動を行い、  
企業市民としての社会貢献を行っています。

**埼玉りそな銀行様とのCSRコラボ サンケン電気**

2005年にスタートした今年で12年目を迎える『りそなキッズマネーアカデミー』！ 昨年に引き続き、今年もお招きいただき、埼玉りそな銀行様の『お金の教室』と当社の『環境教室』、『LED「ペットボトル®」工作』を行いました。2016年8月26日、埼玉りそな銀行和光支店にて小学5、6年生と保護者の方々をご招待して開催致しました。夏休みも終盤に差し掛かった子供達ですが38名もご参加いただきました。

私達の質問にも積極的に発言してくれたり、ワイワイと楽しんで工作していただきました。

埼玉りそな銀行様とのCSRコラボは運営方法他、勉強になる点が多く、当社CSR推進者にとっても大変貴重な体験となっております。



**障がい者施設支援 クッキー等の販売  
サンケン電気、鹿島サンケン**

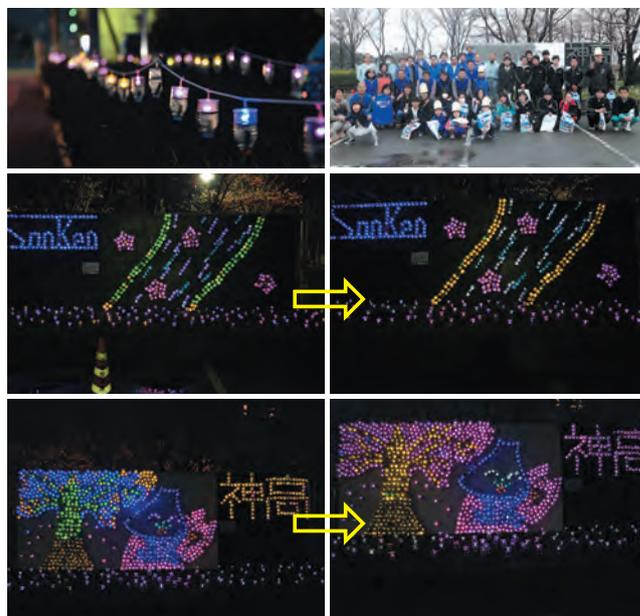
地元地域の「障がい者支援」という社会貢献活動の一環で、近隣の障がい者施設の方にご来社いただき、お菓子などを販売していただきました。

当社社員とコミュニケーションを取っていただき、「障がい者の方がサンケン社員と触れ合うことで明るくなる。」と施設長、ご担当者から喜ばれております。サンケン電気本社、川越工場、鹿島サンケン各拠点で毎年、数回ほど開催しています。今後は食べ物以外のものも販売していただく予定です。



**神栖市 桜まつりに協力 鹿島サンケン**

茨城県神栖市に拠点をおく鹿島サンケンは、地元行政の神栖市役所様からご依頼を受け、2017年4月8日～16日に行われた桜まつりにご協力させていただきました。神之池緑地園内にLED「ペットボトル®」(約1800個)を使い、イルミネーションを演出致しました。デザインや設置には神栖高校の学生にもご協力いただき、行政 & 学校 & 企業のコラボを実現できました。



**SAITAMA 環境フェア サンケン電気**

2016年11月26日、浦和コルソにて、地元である埼玉県環境部主催の「SAITAMA 環境フェア」に3回目の出展をいたしました。過去2回では子供達に「LED工作」を体験していただくだけでしたが、今回からは「エコに関するお勉強」の座学を15分程度受けていただいてから、「LED工作」を楽しんでもらうような時間割構成に変更致しました。その結果、保護者の方々にも興味を持っていただけることができ、前年より足を止めてくださった方が多かったように感じました。



## 環境活動の考え方、環境活動体制

### 低炭素社会の実現に向けて

当社は、かけがえのない地球環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくために、事業活動と環境活動の融合を図り、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指し、「最先端のエコ・省エネ製品で地球環境に貢献」をキャッチフレーズに環境活動を推進しています。

#### 環境保全への取組

関係会社を含めたサンケングループ全体で環境保全活動を推進することにより、一層大きな改善効果が期待できることから、グループ全体の環境ビジョンとして、「SG 環境憲章」を2000年から制定しています。

ここでは、企業活動のあらゆる面で誠意と創意を持ち、環境に優しく行動することを約束し、具体的には「SG 環境行動計画」を定め、実行しています。更にグループ各社ごとは事業特性と地域の特色を踏まえた「環境方針」を定め、環境負荷の継続的な低減に取り組んでいます。

※ SG: サンケングループ

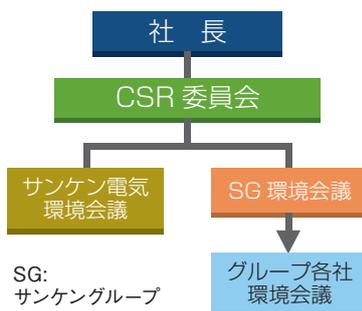


#### 環境マネジメントシステム推進体制

効率的かつ確に環境経営を推進するため、代表取締役の直属組織である「CSR 委員会」を母体として、グループを横断する環境管理体制を構築しています。

当社は、国内、海外の製造拠点の全てにおいて環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001 認証を取得しています。また、ISO14001 新規格（2015年版）対応についても計画的に進めており、2017年1月以降、順次認証更新を計画しております。

事業の特性に応じた環境に配慮した製品開発、廃棄物や資源エネルギーの削減などを通じて環境保全に取り組んでいます。



#### 法規制の遵守

当社は、環境に関する法規制を捉え、定期的に法規制遵守状況を確認しています。

更に、確実な法規制遵守のために、排出ガス、排水、騒音・振動等について、拠点ごとに法律や条例の規制値より厳しい自主管理値を設定しています。

2016年度も行政機関等から指導、勧告等、及び近隣からの環境に関する苦情はありませんでした。

#### 化学物質の適正な管理

当社では、法令遵守、地球環境の保全、事故の防止、労働安全や健康確保、製品安全のために、「化学薬品管理マニュアル」を策定し、化学物質の適正な管理に努めております。

また、化学物質によるリスク低減を図るために、定期的に使用・貯蔵場所のパトロールを行っています。2015年度は分解室をより作業環境の整った場所に移設し、電子錠で入室者（教育受講済者）管理を行うなど、事故の未然防止に努めています。

#### ISO14001 2015年版認証 サンケン電気(株)

国内サンケングループのトップバッターとして、2017年3月にサンケン電気本社・川越工場・新座事業所がISO14001 2015年版の認証を受けました。今後、順次グループ全体へ展開していくとともに、サンケン電気の強みと弱みを分析し、今後の環境改善活動に役立てていきます。



審査概要	
審査月日	2017年3月2日～3月7日
審査機関	日本品質保証機構 (JQA)
審査工数	9.5人/日
審査対象人数	1383名

# 会社概要

商号 サンケン電気株式会社  
 Sanken Electric Co., Ltd.  
 本社所在地 〒 352-8666 埼玉県新座市北野三丁目 6 番 3 号  
 設立 1946 年（昭和 21 年）9 月 5 日  
 資本金 208 億円（2016 年 3 月 31 日現在）  
 決算期 3 月 31 日  
 営業・事業所 国内 10 ヶ所



関係会社

石川サンケン株式会社	ピーティー サンケン インドネシア
山形サンケン株式会社	韓国サンケン株式会社
鹿島サンケン株式会社	三墾力達電気（江陰）有限公司
福島サンケン株式会社	サンケン エレクトリック コリア株式会社
サンケンオプトプロダクツ株式会社	三墾電気（上海）有限公司
大連三墾電気有限公司	三墾電気（上海）有限公司 深圳分公司
サンケン ノースアメリカ インク	サンケン エレクトリック ホンコン カンパニー リミテッド
アレグロ マイクロシステムズ エルエルシー	台湾三墾電気股份有限公司
ポーラー セミコンダクター エルエルシー	サンケン エレクトリック シンガポール プライベート リミテッド
アレグロ マイクロシステムズ フィリピン インク	サンケン エレクトリック（マレーシア）エスディーエヌピーエイチディー
アレグロ マイクロシステムズ（タイランド）カンパニー リミテッド	サンケン電設株式会社
アレグロ マイクロシステムズ ヨーロッパ リミテッド	サンケンビジネスサービス株式会社
埃戈羅（上海）微電子商貿有限公司	サンケンロジスティクス株式会社

## 主要取扱品目

半導体デバイス事業	デジタル制御マイコン、電源用レギュレータ IC、モーター駆動用 IC、自動車用パワー IC、照明・ランプ用インバーター IC、オーディオ用パワー IC、ホール IC、パワートランジスタ、パワー MOSFET、パワー IGBT、サイリスタ、トライアック、電源整流ダイオード、高速整流ダイオード、高圧整流ダイオード、ショットキバリアダイオード、オルタネータ用ダイオード、シリコンバリスタ、発光ダイオード（LED）、LED 照明器具
パワーシステム事業	汎用無停電電源装置（UPS）、カスタム無停電電源装置（UPS）、電源管理用アプリケーション、交換機用直流電源装置、通信・計装用直流電源装置、電解用直流電源装置、産業モータ制御用インバータ、家電モータ制御用インバータ、高光度航空障害灯システム、DC-DC コンバータ、自動電圧調整装置、フリッカ補償装置、周波数変換装置、蓄電システム（ESS） 汎用スイッチング電源、カスタムスイッチング電源、サーバ用電源、AC アダプタ

## 主な業績推移 （連結）

単位：億円、人

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期
売上高	1,607	1,559	1,587
当期純利益	79	1	17
設備投資	150	104	90
研究開発費	166	173	159
従業員数	10,454	10,044	9,770

The logo for SanKen, featuring the word "SanKen" in a stylized blue font.

サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目 6 番 3 号  
TEL. 048-472-1111

問い合わせ先

